



インタビュー Interview

人に夢を与える
輝いている人
プロ棋士を目指したい

第46回さなる杯小学生将棋名人戦岡山県大会で優勝し、4月10日と11日に行われた西日本大会に県代表として出場したのが、木本時之真さんだ。

さなる杯小学生将棋名人戦は、毎年3000人以上が参加する全国規模の大会。都道府県の代表が東・西日本大会で戦い、上位2人が全国大会に出場できる。今回、木本さんは惜しくも全国大会には出場できなかったが、「強い人と戦えていい経験になった。来年は全国大会出場を目指したい」と前向きに語ってくれた。

木本さんが将棋に出会ったのは、小学1年生の6月。放課後児童クラブで友人と一緒に遊んだことが興味をもつきっかけになった。徐々に強くなりたいたいという気持ちで湧き、近隣の将棋教室に入会して活動。プロの指導を受けたら、ライバルと切磋琢磨したりして実力を伸ばしていった。現在は将棋教室に加えて、詰め将棋の書籍やインターネットを使ったオンライン対戦なども活用してレベルアップに取り組んでいる。将棋の面白さを尋ねると、「予想と違う手を打たれたときや逆転する一手を思い付いたとき、とてもわくわくして楽しい」と、笑顔で答えてくれた。

将来の夢は、「人に夢を与えるプロ棋士になりたい。地域に恩返しすることも目標なので、いつか総社で自分の将棋教室を開きたいと思っています」と話す。「プロへの道は険しいけど、できるまで挑戦したい」と、気合いは十分だ。

将棋を楽しみ真剣に取り組む木本さんが、プロとして活躍する未来を楽しみに待ちたいと思う。

木本 時之真さん (総社小5年)

第46回さなる杯小学生将棋名人戦岡山県大会で優勝



五重塔を画用紙に写生する



特別公開されたこうもり塚古墳の内部



備中国分寺前に咲く薄紫色のれんげ

吉備路を彩るれんげのじゅうたん

吉備路れんげウィーク

れんげの花が咲く期間の「吉備路れんげウィーク」に、備中国分寺周辺でさまざまなイベントが行われました。

5月3日には、吉備再発見写生大会を開催。参加者は、備中国分寺や井山宝福寺、名勝豪渓などで、まぶしい初夏の風景を眺めながらスケッチしていました。そのほか、備中国分寺五重塔初層やこうもり塚古墳の公開、タンチョウ観察会、五重塔ライトアップなどが行われました。



●ミニフォト

大きなすごろくで遊ぼう



出た目の数だけジャンプ

雪舟生誕地公園で4月18日、チュッピーの巨大すごろくで遊ぶイベントが開催されました。参加した子ども連れらは、自らがこまになりサイコロを振って進み、楽しみながらマスの指示に従ってゴールを目指していました。

総社でつなぐ音楽のともしび



趣向を凝らしたステージ演奏

4月18日、市民会館で総社吹奏楽団による演奏会「Viva Brass」が2年ぶりに開催されました。ノスタルジーをテーマに、8曲を演奏。訪れた人は、それぞれのふるさとを思い浮かべながら合奏に聞き入っていました。

夜の図書館で大冒険



この絵本おもしろいね

4月24日、市図書館でぬいぐるみのお泊まり会が行われました。持ち主と一緒に読み聞かせ会に参加したあと、泊まったぬいぐるみは館内を探索。みんなで絵本を読んだり、図書館の業務を体験したりしていました。

吉富さん 100歳おめでとう



家族に祝福される吉富さん

4月27日、吉富多佳子さん(総社)が満100歳の誕生日を迎えられ、29日に市から記念品を贈呈。手先が器用で、洋裁の趣味を生かして手芸店も営んでいた吉富さん。長寿の秘訣は、好きなことを楽しむことだそうです。

高杉さん 100歳おめでとう



家族に祝福される高杉さん

高杉喜代子さん(日羽)が5月6日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。結婚後は農業や縫製工場の仕事をしていたという高杉さん。長寿の秘訣は、好き嫌いをなくし、しっかり食べることだそうです。

ゆったりとクルージング



カヌーを楽しむ参加者

そうじゃ水辺の楽校で5月9日、カヌーで遊ぼうが開催されました。親子連れら25人が参加。インストラクターからカヌーの乗り方の指導を受けて水上にこぎ出し、高梁川の風景を楽しんでいました。